

奈良県知事杯第9回中学生硬式野球選手権大会

「大会本部より参加各チームにお願い」

- ① 8月26日（土）開会式
- ・集合 午前8時00分佐藤薬品S（多目的広場）
 - ・服装 各チームのユニフォーム（運動靴）着用
 - ・各チームのプラカードと団旗を持参のこと

② 大会の運営をスムースに行うためにご協力をお願いします。

- ・各チームの当該試合には5人の大人の方が試合開始予定時間の1時間10分前に、各球場に集合して下さい。
合計10人の大人の方には試合前のグランド整備とライン引き、試合中のファールボール拾い及び試合後のグランド整備等をお願いします。
- ・8月26日の開会式については、各リーグ大会委員の方に、佐藤薬品スタジアムに午前7時15分に集合していただいて、開会式の準備と手伝いをお願いします。

受付・来賓対応	Y.R（ヤング・レッド）	県野連（井本・井上）
選手召集・誘導	S（シニア）	県野連（梅本・的場）
グランド設営・旗	B（ボイズ）	県野連（駒村・中川）

③ 大会本部への連絡・問い合わせ

奈良県野球連盟	井本（大会委員長）	090-1918-4913
	梅本（専務理事）	090-3844-8074
	井上（事務局長）	090-2593-9629
	中川（常任理事）	090-3034-8215

奈良県知事杯第9回中学生硬式野球選手権大会

開会式 式次第

8月26日(土)佐藤薬品スタジアム(県立橿原公園野球場)

スタッフ集合 7:15

役員集合 7:30 ・奈良県野球連盟役員

・ボーアズ、シニア、ヤングの各リーグ支部長他役員

選手集合 8:00 ・各チーム選手集合(球場一塁側の多目的広場)

・各選手はユニフォーム着用、運動靴

・プラカード、団旗持参のこと

〈開会式〉

8:15 関係者整列(来賓、主催・主管団体、チーム代表、審判委員、監督)

8:15 選手入場行進開始 整列

開会宣言

国旗掲揚

主催者あいさつ

来賓あいさつ

主催・主管団体、役員・来賓紹介

選手宣誓

9:00 選手、関係者退場

閉会式 式次第

9月3日(日) 16:00～ 橿原市運動公園

参加チーム(準決勝以上の4チーム)

・15:55 関係者整列(大会役員、表彰チーム・選手整列)

・16:00 表彰(優勝、準優勝、3位、個人賞)

主催者あいさつ

国旗降納

・16:30 関係者退場

奈良県第9回中学生硬式野球選手権大会

大会約款（大会特別規定）

本大会は奈良県の少年硬式野球団体同士が交流することにより、少年野球の普及と発展を図ることを目的とする。

大会運営にあたり、下記の大会特別規定を定める。

- ① 本大会に参加できる選手は所属団体の規定を満たす者で2017年6月末の時点で登録された選手とする。
- ② チームは単独チームとし、11名以上25名以内の選手で編成すること。また、ベンチに入ることができ
る監督・コーチ2名・スコアラーまたはマネージャーを含む4名までとする。選手・監督・コーチは同一
のユニフォームを着用すること。ただし、所属団体に別の規定を有する場合、それを優先する。背番号は
所属の団体の規定の通りとする。
- ③ 2017年度公認野球規則と下記の細則により試合を行う。
 1. 各チームの主将は試合開始40分前、または前試合4回終了後（コールドゲームの時は試合終了次
第）所定の先発メンバー表を本部に4部提出し、同時に審判員立会いのもとで攻守を決める。
 2. 各試合7回戦とし、4回終了時10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
また、本大会は、サスペンデットゲームを適用しない。
 3. 原則7回までとし、4回以降100分を超えて新しい回に入らない。尚、同点の場合はタイ・ブレー
クを適用する。
 4. 7回終了後、同点の場合は、8回よりタイ・ブレークを採用する。尚、タイ・ブレークは、3回ま
でとし、3回を終えて同点の場合は、抽選とする。
 5. 降雨、日没その他の理由により、試合続行不可能の時、4回終了をもって正式試合とし、それ以前
の場合または同点の場合は再試合とする。
 6. 投手の投球制限については、1日7イニング以内とし、連続する2日間で10イニング以内とする。
また、1日に複数試合に登板した投手及び連続した2日間で合計5イニングを超えた投手（5イニ
ングは可）は、翌日に投手または捕手として試合に出場できないものとする。ただし、イニングの
端数（1/3または2/3）は1イニングとみなす。
 7. 選手が打席に入る時は、必ず両耳付きヘルメットを着用すること。また、走者になっても危険防止
のため必ず着用すること。また、ベースコーチャーも着用のこと。なお、捕手も防護用ヘルメット
と所定の防具を着用（練習時も含む）すること。
 8. 代替え走者は認める。ただし、特別な事情の場合（死球など）により少し休めば試合に出場できる
と審判員が判断した時に適用できる。この場合、その打者の最も近い打撃の完了した選手（投手を
除く）を代替え走者とする。
- ④ 各チームは必ず成人である責任者が引率し、大会中、選手の全ての行動ならびに応援に対して責任を負う
こと。
- ⑤ 審判に対する申し出は監督が行う。ただし、審判のジャッジには抗議できない。
- ⑥ 傷害処置については、大会中の負傷または疫病に対して応急処置は施すが、それ以上主催者は責任を負わ
ない。

奈良県第9回中学生硬式野球選手権大会

大会特別規定・補足

- ① ベンチは組み合わせ表の上段チームを一塁側とする。
- ② ベンチに入ることができるのは登録選手と監督・コーチ・スコアラー(マネージャー)等4名とする。
尚、当該試合の代表は、本部席に就くこと。
- ③ グランドインしたチームは本部の指示のもとに、速やかに試合前の練習を行うこと。
グランドルールがある場合はそれに従うこと。
- ④ 試合前のノックは5分間とする。ただし、試合進行、グランド状態により行わない場合がある。
- ⑤ 試合をスピーディーに行うため以下の項目を守ること。
 1. 攻守交代時に守備に移るチームがスピードイーにポジションにつくことはもちろんのこと、攻撃に移るチームも先頭打者とベースコーチはミーティング(円陣)に加わらず、所定の位置に速やかにつくこと。
 2. 投手は、投球板に触れている状態で捕手からサインを受けること。
 3. 打者はみだりにバッターボックスを出ることは許されない。たとえ、タイムを要求しても審判員がタイムを宣告しないときはインプレーとする。
 4. 次打者は、必ずウエーティングサークルに入り、投球時は膝について待機すること。
 5. 捕手は、投手に返球したり、野手に声をかけるために一球ごとにホームプレートの前に出ないこと。
 6. 投手の投球練習は初回及び交代時は7球、イニング時は3球とする。
- ⑥ 監督またはコーチがマウンドに行く制限は野球規則8.06を採用するが投手は自動的に試合から除かれることはなく、他の守備につくことができる。また、一度他の守備についてこの投手が再び投手の位置についても差し支えない。
監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃3回と守備3回の合計6回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。) 内野手が2名以上投手のところに行った時も1回に数える。
- ⑦ 試合中に次の試合のチームの先発投手はメンバー用紙交換以後にグランド内で投球練習をしても良い。ただし、危険防止のため補助選手(ヘルメット着用)1名を必ずつけること。
- ⑧ ゴミは球場(グランド、スタンドを問わず)に捨てず、必ず持ち帰ること。スタンドで応援する選手、保護者にも徹底すること。